

うるま市の蝶
シリーズ⑩

オオゴマダラ



(写真はイメージです。)

オオゴマダラが 飛び交う勝連城跡

「スゴイ、きれいだ」「作り物か」「黄金色に輝いているよ」これが初めて見たときのうるま市の蝶「オオゴマダラ」のサナギの印象です。2000年12月、世界遺産に登録された「琉球のグスク及び関連遺産群」の一つに数えられている勝連城跡がうるま市にあります。登録後は県内外からの観光客がどんどん増えています。そこに新しく休憩所が開設されました。私はその休憩所へオオゴマダラのサナギを置いたりしています。

冒頭の言葉は、観光客の感嘆の声です。それを聞いてか、オオゴマダラが室内をフワ〜と飛んでいたりします。この様にオオゴマダラは観光に訪れる方へ好感を与えています。

幼虫の食べる草「ホウライカガミ」を休憩所構内に植えてオオゴマダラを呼ぼうと考えています。いつかは、勝連城跡でゆったりと飛び交うオオゴマダラを見て、550年前に亡くなられた肝高の阿麻利さんや、そこへ訪れる観光客が喜び姿を頭に描きつつ…。

想像するだけでなんとも言えない肝高の気分になれます。(こんな事を考えるのは僕だけか)でもこれは夢? いや、夢は叶うというではないか。

(文・写真)
うるま市ちょうちょう愛好会
とみやま やすくに
富山 安邦

羽ばたけ!! スポーツ少年団



栄野比ゼット

野球

栄野比ゼットは、昭和47年に結成され、36年の歴史あるチームです。これまで古謝政良監督、謝花喜信監督、比嘉哲監督と引き継がれ、野球を中心に活動しています。部員は2年〜6年生までの21人と少数ですが、週3〜4回、川崎小学校を拠点に活動し、「声を出そう、笑顔でニーン」を合言葉に練習に励んでいます。平成7年に具志川ブロック大会優勝、平成19年にはうるま市長杯で優勝し、すばらしい成績を残しています。これからの目標は、未だ経験のない県外大会に出場する夢を叶えることです。

6年生が卒業するとメンバーが少なくなりますが、栄野比ゼットでは随時、団員及び指導者を募集しています。やる気のある人、是非、一度グラウンドに足を運んでみてください。監督や父母は、元気に無理なく、気負わずにプレーし、心と体が強くなることを願いつつ、日々頑張る子どもたちを応援しています。



田場スワローズ

野球

田場スワローズは、昭和52年に創設され、今年31年目の伝統あるチームです。宮里勝裕監督の指導のもと、55名の部員が田場小学校を拠点に活動しています。また、市スポーツ少年団主催の行事にも参加して、各少年団との交流を深めています。

日頃の練習ではおとなしい子どもたちですが、いざ試合になると秘めたパワーを発揮できるチームです。「チームは一つ!明るく、楽しく、元氣よく」を合言葉に子どもたちをはじめ、監督、コーチ、父母が一丸となって一つの輪を大切にしています。

今年1月に行われた中部地区新人大会では準優勝、2月に行われた第100回学童軟式野球大会うるまブロック大会では優勝と、優秀な成績を収めています。

これまでの目標だった県大会出場を達成し、次は県大会で上位進出を目標にして、県外派遣をつかむことに全力を尽くします。

野球が上手になることはもちろん、一人ひとりが友達を思いやり助け合える子に育ってほしいと、監督や父母は、頑張る子どもたちの成長を見守っています。